

令和6年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・小中連携で課題となっていた ICT を用いた授業改善を行うことができた。作文を書く機会も、行事と連携したり、授業の中で条件作文を書いたり、場面設定をして行うことが出来た。
- ・各学年で書くことの機会を設けて指導してきたため、自分の考えを表現するということに前向きな生徒が多い。

(2) 課題

- ・思考・判断・表現の観点のうち、わかりやすく伝えること、正確に読み取ることをどの学年も苦手としている生徒が多い。
- ・話を聞く、集中するという環境づくりから始める必要がある生徒も一定数いるため、その日の学習させたいレベルに到達させられない現状もある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	区の平均を数ポイントほど下回っているが、漢字の書きや報告する文章を書くことは区の平均よりも数ポイント上回っていた。一方、文章を読むことと書くことに課題がある。		
第2学年	区の平均を数ポイントほど下回っているが、昨年度より区の平均に近づくことができ、学力の上昇が見られた。特に情報の扱い、読むことに課題がある。	区の平均を数ポイントほど下回っているが、昨年度の校内平均値を若干正答率となっている。特に話すこと・聞くことと書くことに課題がある。	
第3学年	区の平均を数ポイントほど下回っている。自分の考えを書くことは区の平均を上回っている一方、読むことと言語文化の領域に課題がある。	漢字の読み書きについて、昨年度よりもさらに正答率が下がっている。知技の観点において全国平均より下回る傾向がある。特に、文法事項・漢字に課題がある。	全体的に目標値を上回っているが、「漢字を書く」と「文学的な文章を読み取ること」に課題がある。

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書き、文法・語句は区の平均を数ポイント上回ったが、漢字の書きは目標値には達していない。	読むこと、聞くこと、書くことにおいて、区の平均を下回っている。特に、文章を読むこと、文章を書くことに課題がある。	多くの問題に対して意欲的に取り組んでいるが、自らの考えを文章にする問題には粘り強く取り組めないことがある。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書きに関しては、区の平均を上回ることができた。文法事項に関しては若干下回っている。	文章を「書く」の項目は区の平均を上回っていたが、文章を「読む」の項目は区の平均を下回っていた。	それぞれの取組に対しては意欲的であるが、学習内容の難易度が上がってくると、粘り強く取り組むことができない生徒がいる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の書きはおおむね目標値を超えることができているが、読みは出題される問題によって正答率に差がある。助動詞の理解に不安がある様子である。	自分の考えを文章にすることを得意としている生徒が多い。一方で、文学的文章・説明的文章ともに読解の正答率が全体的に区の平均を下回っている。	自分の考えを求められる問題には意欲的に回答しているが、文の構成を伝わりやすいように工夫するという点には至っていない様子である。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書きに関しては単元ごとに行う小テストで補っていく。文法・語句については、授業で繰り返し指導を行っていく。特に、語句を意識するよう練習問題を増やしていく。	読むことの学習については、文章の内容から作者、筆者の意図や考えに気づいていく指導を行っていく。書くことの学習においては、短い文章を書く活動を多く取り入れることで、書くことに慣れていくようにする。	国語が苦手、嫌いという生徒のために、思考の道筋を明確にする。また主体的に学べるように発問や活動を工夫し、粘り強く考えていくことができるようにする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書きに関しては週2回行っている漢字テストの成果が出た。今後もこの取り組みを続けていきたい。文法に関しては単元の終わりに小テストを実施するなどとして知識の定着率を上げたい。	単元のまとめとしてワークシートで書く活動を多く取り入れているので、「書く」の項目が高かった。一方読み取りに関しては、読み取りはできていても問題への取り組み方の授業をあまりしていなかったので、3年生に向けてワーク等を用いて改善していく。	2年生になり授業内容も難しくなっているが、課題への取り組みを段階的に提示し、生徒に応じた目標を持って到達できるようにしていく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書きについては、今年度から授業の導入5分で行っている小学校の漢字の復習で学習を補っていく。文法については、2学期末に助動詞の問題演習を中心に行う予定である。	説明的な文章の読解については、要約や要旨まとめの学習から、段落同士のつながりを考えていくことを大切にしていく。文学的文章の読解については、内容や人物の心情を思い込みで読んでしまう生徒が多いため、文中や文脈から根拠を挙げられるよう授業をしていく。	伝わりやすい文章が書けない、文章に苦手意識があるという生徒のために、章の型を示し、具体と抽象を意識して書かせることで伝わりやすい文章とはどんなものかを実感できるようにしていく。意欲が学習の習得に繋がる指導を意識する。